

# わが家の学びの充実に向けて

～子どもの探究心を生み出すかわり～

変化の激しい社会の中でたくましく生き抜くために、「実際の社会や生活で生きて働く知識や技能」、「未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力」、「学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性」などが求められており、各学校では探究的な学びを大切にこれら力を育んでいます。全国的な調査によると、家庭学習時間がしっかり確保され、学校での出来事が話題になる家庭では、子どもの学習意欲が高まるという結果が見られます。子どもの探究心と家庭学習をつなぐことを大切にいきましょう。

## 学びを「おもしろい!」「楽しい!」と言える子どもへ

### 「やるべきこと」と「やりたいこと」の両立を!

- 時間を効果的に使って学習する習慣につながります。
- 大人が新聞や本を読むなどの学ぶ姿を示すことが、子どもの主体的な学びにつながります。

※家族と一緒にの空間で学習する家庭では、子どもに家庭学習の習慣が身に付きやすい傾向にあります。

### 子どもが体験や学びを大切だと思えるようなかわりを!

- 身の周りの様々な不思議や感動に対して「なぜ?」と問うことが、深い学びにつながります。
- 体験や学びを通した子どもの成長を具体的に認めることが、自信や意欲につながります。

【例】「できるようになるまで、よくがんばったね。」

- 日常の体験が、生きた学びにつながります。

【例】お買い物の時、だいたいいくらになるのか代金を考える。

料理のお手伝いの時、水のかさや、ものの重さを実感したり、仕事の段取りについて考えたりする。

